

「あいー(アリー)」
アリ探しに行くぞー!



「あい、ない・・・」
じっと地面を見つめています。

「あい、あったあー」
やっと見つけたアリに
大喜び!



エピソード

A 児(1歳 10ヶ月)歩行も安定し、とことこと歩いて、園庭の探索を楽しんでいる。

今日も園庭に出るとあっちへこっちへと歩行し、草むらでふと立ち止まると下を向き、じーっと何かを見つめていた。「A くん、何か見つけたの?」と保育者が聞くと、A 児はしゃがみこんで草の方に目をやりながら「ない」と言うので「ん?何がないの?」ともう一度聞いた。「あい(アリ)ない」と言って立ち上がり、またとことこ歩き始めた。またしゃがみこむと、草の方に指を向け「あい、ない」と言いながら手のひらで草をかき分けている。「あり、探していたんだね」と声をかけ、保育者も一緒にアリ探しをした。「ありさん、でておいでー」と保育者が言うと、A 児も真似て「あいしゃん てておいでー」と言いながら探している。保育者が草の中にいたアリを見つけたので「A くん、ありさんここにいるよ」と、指先をアリの動きに合わせてながら伝えた。A 児は、保育者の指先を目で追うもののなかなか見つけられず、もどかしそうな表情で保育者を見つめた。保育者は A 児がもう少し分かりやすいところにいるアリを探し「ほら、ここにもいるよ」と、もう一度指先でアリのいる方を知らせた。A 児は、もう一度ぐっと草の中を見つめようやく視界に入ったアリを見つけると、「あい、あったー!あいー」と、とっても嬉しそうに笑顔いっぱいの顔で伝えていた。

A 児はその後、園庭に出ると「あいしゃん」と言いながらアリ探しをする姿が見られた。

保育者の思い

・アリ、ダンゴムシなど小さな生き物や、身近な春の自然を見つけたり、触れたりすることを楽しんでほしい。

・行きたいところへ自由に行き、歩くしゃがむなど体を使って園庭の探索を楽しんでほしい。

・A 児の身の回りに対する興味や関心を大切にし、子どもの驚きや喜びを共感したい。

・指先を使ったり、ものをじっくりと見る経験ができるようにしたい。

・「あい、あった」とアリを見つけた喜びを言葉やしぐさで伝えてほしい。

子どもの育ちや学び

・戸外での探索遊びを通して、アリなどの小さな生き物に興味を持ち自分で見つけようとしている(知識及び技能の基礎)

・保育者の指先に目をやる(知識及び技能の基礎)

・草の方に目をやったり、手を使って草をかき分けて探してみたり、どこのアリがいるのか記憶をたどって探している(思考力判断力表現力等の基礎)

・「あい、あった」自分の目で見つけたことを喜び、声に出している(思考力判断力表現力等の基礎)

・いつもこのあたりで、アリを見つけていることを覚えている(学びに向かう力人間性等)

・草の中に目をやり、ありを探す(学びに向かう力人間性等)